

第5回 焼津漁協 再発防止委員会
議事要旨

- 1 日時 令和4年3月14日(月) 15:00~17:00
- 2 場所 焼津漁業協同組合総務部会議室
- 3 出席者
委員：加藤委員長、原田委員、橋ヶ谷委員、近藤委員、海野委員、見崎委員、
松永委員、鈴木委員、白石委員、大本委員、鳶本委員
県(傍聴)：板橋水産・海洋局長
- 4 議事要旨
 - (1) 主な協議事項
 - ① 運送会社への対応
運送会社に対して、未計量の冷凍魚を市場外に搬出しないこと等を求めるコンプライアンス誓約書の提出と、使用車両・運転者名簿の提出を求めたい旨、鈴木委員から提案があった。
【主な意見】
 - 市場でのトラック利用は、運送業者以外にも仲買人自らが行う場合もあるので、仲買人にも同様の誓約書の提出を求めることが必要ではないか。
 - 使用車両・運転者名簿の提出を求める趣旨が、名簿に記載されているもののみ市場に出入りを可能とするということであれば、その旨もコンプライアンス誓約書等にも盛り込むべきではないか。
 - 未計量のものを搬出しない、ということではなく、盗難防止対策で決めているトラックの動線などがあるのだから、「漁協の指示に従って運送する」ことをコンプライアンス誓約書で求めるべきではないか。
【決定内容】
意見を踏まえ、内容・発出先をさらに検討する。
 - ② 誓約書の徴収状況
全職員からの誓約書の徴収を終えた旨鈴木委員から報告があった。
 - ③ 内部通報制度の制定
内部通報制度について、外部通報先を外部の弁護士とする内容で、規程を策定した旨、松永委員から報告があった。
【決定予定】
制定された内容も踏まえ、改善点の有無を検討することとなった。
 - ④ 職員の処分
職員の処分について、近日中に機関決定し公表予定である旨、鈴木委員か

ら報告があった。

⑤ 全量計量に関するメーカーとの打合せ状況

全量計量を行うための手法及び出入りするトラックの認証システムに関するメーカーとの検討状況について、鈴木委員から報告があった。全量計量に関しては、トラックスケールの通過義務化など既に一定の盗難防止対策が講じられている中では、費用対効果の観点から、小秤での全量計量を行うことのできるよう、小秤を増設しチェック体制を強化してはどうかという提案を受けたとのことだった。

【主な意見】

- 人手不足という中なので、効率化・省力化できる手法を検討すべきではないか。例えば、選別機のラインも、選別機から直接トラックに流し込む手法を前提にしていたから、搬出口間で距離を設けなければならなかったが、今のように、パレットに入れてから計る形態であれば、ラインを直線的にして、選別係も帳面係ももっと少ない体制でも回せるようにできるのではないか。
- 国内でも導入例がないような新しいものを整備して、根本的な改革をした、と言えるように検討して欲しい。

【決定内容】

意見も踏まえ、引き続き、メーカーと検討を重ねることとなった。